

## W060の特長

この時計は時刻・カレンダー表示とストップウォッチ表示の二通りの機能を備えています。

ストップウォッチは、30分まで1/100秒単位、30分以降は1秒単位で計測できる24時間計です。時刻表示は時、分、秒、曜で、ボタンを押すと月、日、曜を表示します。

## 製品仕様

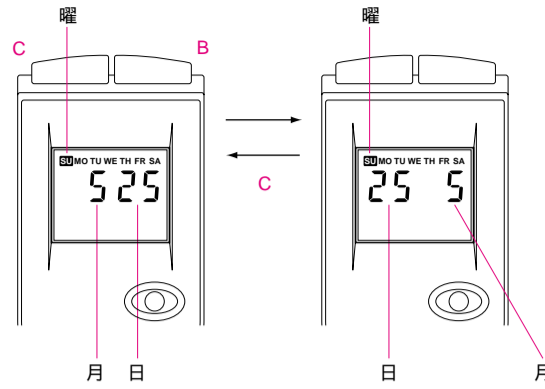
- 水晶振動数・・・32,768Hz (Hz = 1秒間の振動数)
- 精度……………平均月差±45秒 (気温25 ± 3 において)
- 作動温度範囲… - 5 ~ + 50  
使用温度範囲… 0 ~ + 50
- 表示内容

主な表示	時	分	秒	1/100秒	月	日	曜	AM	PM
時刻・カレンダー表示									
ストップウォッチ表示									

- 印はボタン B を押し続けている間だけ表示します。  
AM、PMは12時間制のときに表示します。
- 表示体……………FE (電界効果) 型ネマチック液晶
  - 使用電池……………小型酸化銀電池 SB-B9 1個
  - 電子回路……………C-MOS-LSI 1個
- 上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

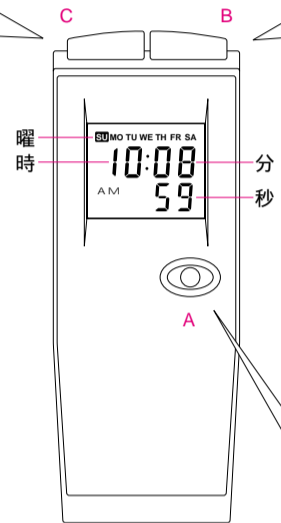
## 月・日の入れ換え

時刻表示のとき、ボタン B を押したままの状態 (カレンダー表示) で、ボタン C を 1 回押すごとに交互に変わります。



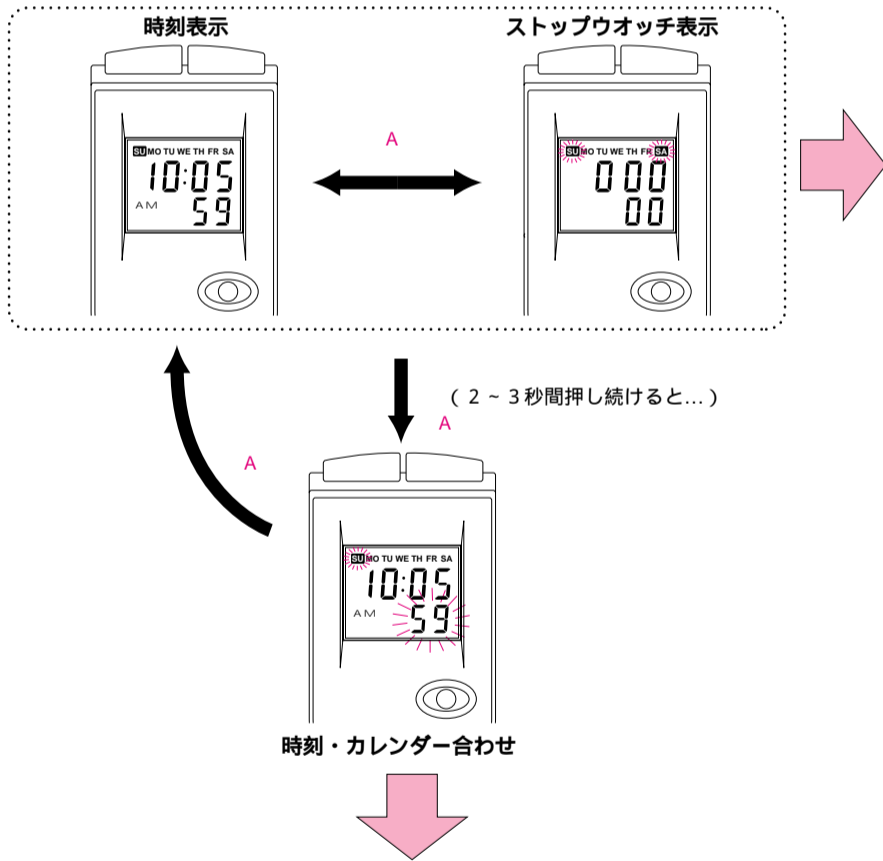
## 表示の切り換え

ストップウォッチ表示のとき  
…スプリット/スプリット解除/リセット  
時刻・カレンダー合わせのとき…合わせ



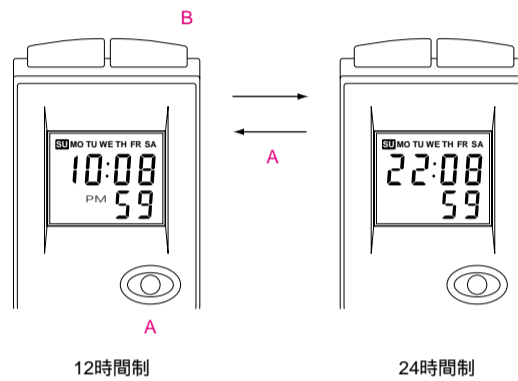
時刻表示  
…押し続けている間、月・日・曜を表示 (カレンダー表示)  
ストップウォッチのとき  
…スタート/ストップ  
時刻・カレンダー合わせのとき  
…修正箇所の選択

表示の切り換え



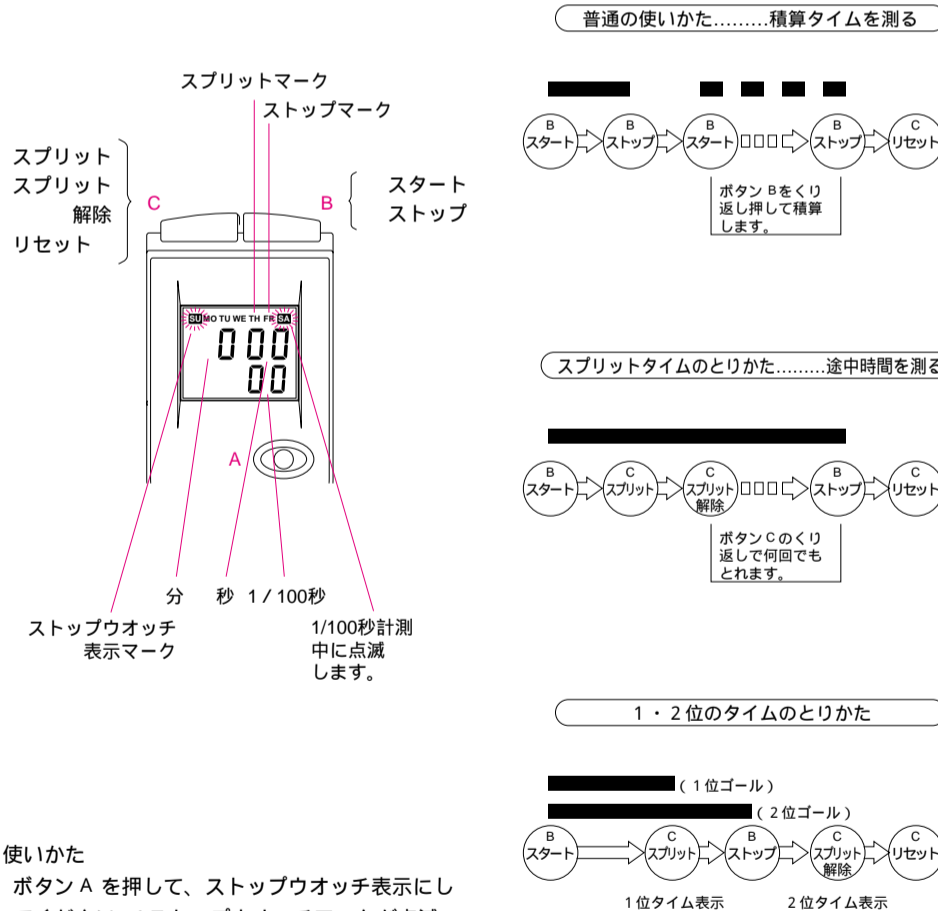
## 12-24時間制の切り換え

時刻表示のとき、ボタン B を押したままの状態、ボタン A を 1 回押してはなすと、12時間制と24時間制の切り換えが交互に変わります。



## ストップウォッチの使いかた

このストップウォッチは24時間計で、初めの30分間は1/100秒の計測ができます。

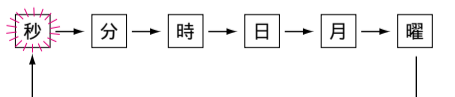


## 時刻・カレンダーの合わせかた (時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です)

ボタン A を 2 ~ 3 秒間押し続けてください。時刻・カレンダー合わせマークと秒が点滅します。

時報に合わせてボタン C を押すと、00秒に合います。

秒が30~59秒のときボタン C を押すと分が1分くり上がって00秒に合います。ボタン B を 1 回押すごとに次の順序で点滅するところ (合わせるところ) が変わります。



合わせたいところを点滅させたあと、ボタン C を 1 回押すごとに 1 つずつ進みます。(押し続けると早く進みます。)

時を合わせるとき、午前 (A) 午後 (P) に注意してください。

合わせ終わりましたら、ボタン A を押して時刻表示にもどしてください。



使いかた  
ボタン A を押して、ストップウォッチ表示にしてください。(ストップウォッチマークが点滅します。)

使う前に00秒 (リセット) にもどしてください。ストップマークが点滅しているときは、ボタン C を押して、スプリットマークが点滅しているときは、ボタン B を押し、さらにボタン C を 2 回押してください。

ストップウォッチを正しく使用していただくために、ボタン C を 1 秒以上押し続けしないでください。「時刻表示」または「時刻・カレンダー合わせ」へ切り換えることができます。この場合、スプリットタイムは計測できませんが、再び表示を切り換えればストップウォッチは正しく計測を続けています。